

牛群検定の利活用などについて、解説記事を掲載しています

1 全酪新報11月1日号 全国酪農協会

牛群検定ワンポイントレッスン その17 難産死産や過肥などの遺伝情報の活用

ちょっと待った！その交配は難産になってしまう交配では？牛群検定で提供している次世代診断情報を利用すれば、難産や死産になりやすい交配をしてしまった場合に警告が発信されます。

2 酪農ジャーナル11月号 酪農学園大学エクステンションセンター

牛群検定だより（第8回）肢蹄状況スコアを活用しよう！

蹄冠や飛節の腫れが気になりませんか？そのままにしておくと、蹄葉炎や関節周囲炎を発症して、大事な牛を失うことになります。牛群検定を利用してコントロールしましょう。

牛群検定を勉強しよう！

パワーポイントをCD-Rで配布中！無料！

本年度も牛群検定関連のパワーポイントを無料配布します。今回はこれまでのものに加え、この春に乳用牛群検定全国協議会が配布した「周産期病の予兆は牛群検定から素早くキャッチ！」の写真や図表のパワーポイントも特別ジョイントしています。みなさんの地域で行われる研修会等でご利用ください。もちろん、昨年度にCD-Rを入手済みの方でも再申し込みできます。

配布する主な内容 以下の印刷物や動画で使った
すべての図表や写真

1) 乳用牛群検定全国協議会

周産期病の予兆は牛群検定から素早くキャッチ！

2) デーリィ・ジャパン社

今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営！

3) 畜産経営支援協議会

eラーニング 牛群検定情報の活用Step1～3テキスト

4) 家畜改良事業団

・新しい牛群検定成績表についてその1～32

解説文のPDFがセットです。

・牛群検定で肢蹄の状態をチェックしよう

・簡易ボディコンディション見本写真

・繁殖台帳Webシステムのビデオ

入門編①～⑥、応用編①～⑤



ただし、原図ですので、掲載のものとは少々デザインが異なります。

-----<切り取り>-----

家畜改良事業団情報分析センター 行き

FAX : 03-5621-8922 Email :toiawase@liaj.or.jp

牛群検定パワーポイントCD-R 申込書

送付先 住 所) 〒

氏 名)

下にご賛同頂けるときは、(はい)に丸印をつけてください。

(はい / いいえ) 昨年度も申し込まれましたか？

(はい / いいえ)

当団では新規に牛群検定加入の場合に6カ月間経費が無料等となるお試し検定を行っています。本CD-Rを利用した研修会等を開催する際には、未加入農家も研修対象とする等の検定普及促進にご協力をお願いします。

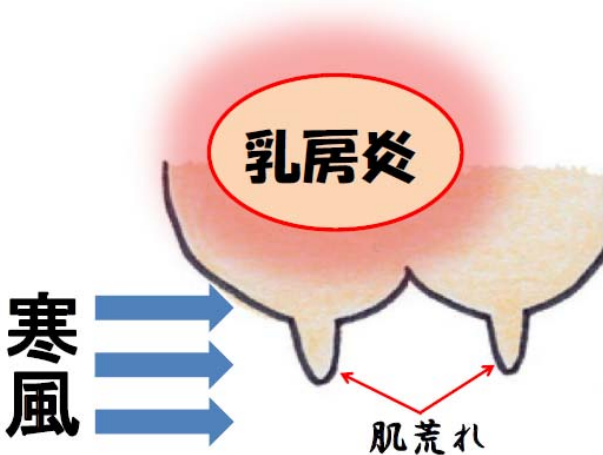
冬季の乳房炎に気をつけて！

(1) 検定成績表を見てみよう！

体細胞数の増加は乳房炎罹患と密接な関係があり、牛群検定では体細胞数283千個以上を乳房炎罹患の目安としています。体細胞数は抗病性の低下する夏季に高い値を示します。そして、ホルスタイン種は寒さに強いことから、冬季には体細胞数が低下するのが一般的です。下図は検定成績表の1枚目の中ほどにある「移動13カ月成績」のうち体細胞数を拡大して示したものです。この農家の例では、一般論と異なり、冬季の体細胞数が高いことがわかります。

(2) 何を改善するか？

このような現象は、最近、普及の著しいフリーバーン等の開放式牛舎に増えています。冬季の搾乳後のディッピングにより乳頭が濡れた状態で牛舎に戻り、開放式牛舎で寒風により乳頭が冷やされ、肌荒れ（霜焼け）をおこして雑菌が増えてしまうことが原因と言われています。こういった場合は、搾乳後のディッピングの際に、清潔なペーパーで軽く、薬剤を拭き取るのが効果的です。また、高価にはなりますが、保湿剤入りのディッピング剤も販売されています。



(3) 体細胞数の季節変化

このように体細胞数の季節変化は一般論とは異なり、各農家それぞれ固有の季節変化を示している場合もありますので、検定成績表によりその原因を追及し改善することが大切です。よく言われていることを列記すると以下のとおりです。

- ① 8月時期の体細胞数が高い
暑熱対策が不十分であることを示します。
- ② 梅雨（6月7月）や秋雨（9月10月）時期の体細胞数が高い
牛床が乾燥しないなどの湿気対策が不十分であることを示します。運動や放牧を実施していれば泥濘化や、牛体や乳房の雨水の拭き取りなど乾燥させずに搾乳していないか等も確認して下さい。
- ③ 飼料の切替時期
硝酸態窒素の多い飼料や豆科飼料では、体細胞数が上昇しやすいと言われていますので、確認してみてください。

その他、農家固有のことが原因となっている場合も多々ありますので、体細胞数が増える時期があればその時期に何があったか、作業日誌などと照合してみてください。

冬季に体細胞数の高い検定成績の見本

移動 13カ月 成績	体細胞情報									
	体細胞数 平均	搾乳牛頭数比率					乳量 損失 率	乳代 損失 率	乳代 損失 率	乳代 損失 率
		70 以下	71~ 282	283 以上	新規 頭数	頭数				
検定年月日	千/ml	%	%	%	%	%	%	%	%	%
25.10.30	144 (2.3)	59	30	11	3	7	1	298		
25.11.27	134 (2.3)	65	27	8	5	11	1	253		
25.12.28	268 (2.5)	57	29	14	6	15	1	346		
26.01.28	324 (2.7)	57	26	18	8	19	1	340		
26.02.28	236 (2.3)	60	29	10	3	7	1	233		
26.03.27	192 (2.7)	54	33	13	5	14	1	320		
26.04.23	159 (2.4)	60	27	12	5	14	1	277		
26.05.29	163 (2.4)	61	28	11	3	8	1	258		
26.06.24	103 (2.2)	62	30	8	4	10	1	222		
26.07.26	143 (2.5)	59	31	10	6	14	1	254		
26.08.26	147 (2.7)	54	34	12	6	14	1	331		
26.09.27	144 (2.4)	60	30	11	5	11	1	318		
26.10.28	164 (2.2)	63	27	10	3	8	1	296		
平均・計	155 (2.5)	59	30	11	5	12	1	3450		
前年成績	184 (2.6)	57	28	15	7	16	1	3592		

改善ポイント

体細胞数が良好な農家の例ですが、冬季（12, 1, 2月）の体細胞数が高い。2月は乳房炎を罹患していると考えられる頭数が19頭もいることがわかる。

冬支度はお早めに！

